

幹事会／関東・関西集会 報告

幹事会報告 第142回（平成27年7月）～第150回（平成28年4月）

計9回の幹事会が開かれたが、「経済的に困窮している犯罪被害者等に必要な補償制度」の実現のために、内閣府・警察庁、自由民主党への働きかけ・対応を検討することが主題であった。

平成27年5月に自由民主党政務調査会司法制度調査会（犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進を図るPT）のヒヤリングを受け、経済補償制度の中でも4点に絞ってそ

の実現を働きかけることにした。一方、該件が第3次基本計画に盛り込まれるよう内閣府「犯罪被害者等施策推進・専門委員等会議」にも提案することを決めた。さらに、第3次基本計画の骨子案についてのパブリックコメントへの対応も話し合った。

また、少年法と成年年齢、ウィキペディア修正、絶歌問題についての対応を協議した。

関東集会報告 第142回（平成27年7月）～第153回（平成28年7月）

昨年7月から本年7月まで毎第3土曜日に計12回の集会を行った。新しい参加者も時折あったが、人数は毎回10～16人でほぼ固定化してきた。

主な議題は、内閣府で行われている第3次基本計画に向けての基本計画策定・推進専門委員等会議の内容であった。多くの会員は、心の傷は残っているものの、事件からは時が経ち裁判等も終わっているが、あすの会の要望して

いる経済補償制度の内容を真剣に話し合った。その他司法関連ニュースに対する意見交換や会員相互の近況報告等を行った。12月には岡村顧問が久しぶりに出席され、16年の歴史が思い起こされた。

終了後の懇親会は、集会とは違った面持ちで多くの方が参加され、毎回和やかに行われた。

関西集会報告 第165回（平成27年7月）～第177回（平成28年7月）

毎月1回欠かさず開催した。世の中を騒がせた元少年Aによる出版物に関連して「サムの子息法」成立過程等の資料を用意し話し合った。被害者週間が目の前の回では、あすの会の展示物を一新するため、基本法成立、被害者参加制度成立の過程等わかりやすいパネル作成に力を注いだ。日弁連の死刑事件に対する手引き書について勉強した。サンテレビ作成の「娘の命の価値」という番組を視聴した。ウィキペディアでみる「あすの会」は間違いが多いのでチェック作業を続け事務局へ申し出た。「犯罪口座の残

金・給付型奨学金」についての情報を共有した。大阪府・大阪市・堺市の本年度の事業計画等の説明を受けた。後藤啓二弁護士（幹事）が参加され「児童虐待防止」についての説明と電子署名協力依頼を受けた。神戸市・尼崎市・明石市の事業計画の説明があった。泉市長が参加され、熱い思いを聞かせていただき感謝する。会員の近況報告では犯人出所後の被害者の安全確保をどうするのか、事件による医療費負担を強いられた件について、その理不尽を語り合った。